公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構
フォトンバレーセンター委託事業

―レーザー加工と品質工学―

平成29年度 第2回 全2回
光を利用したものづくりに関するセミナー

品質工学とは、欧米では”タグチメソッド”とも呼ばれ、ものづくりにおける技術開発・新製品開発を効率的に行う開発技法である。技術開発・新商品開発の段階で材料、製造条件、顧客の使用条件、環境等を考慮に入れ設計（ロバスト設計）することによって設計段階で市場品質を確保するとともに工程内不良をも低減する方法である。

本セミナーでは、タグチメソッドの概念、重要性を紹介するとともに、市場品質確保、クレーム低減、性能アップ、開発期間短縮を行うためのタグチメソッドの開発の進め方を紹介する。また、自動車産業におけるレーザー加工技術開発へのロバストネス最適化事例など、品質工学の適応事例も紹介する。

セミナー内容

- **タグチメソッド全体像**
- **ロバストネスの評価と最適化**
- **ロバストネスの最適化事例**
  ―自動車産業を中心としたレーザー加工の適用事例 など―

参加費 無料

講師

光産業創成大学院大学客員教授
有限会社アイテックインターナショナル顧問
ASI Consulting Group CTO
田口 伸 氏

タグチメソッド開発者の田口 玄一博士の長男で世界中の企業で指導を行い、成果を出している。
主な指導会社／GM、Ford、Chrysler、現代自動車、Bosch、ITT Defense Electronics、Xerox、Delphi、Heidelberg、Siemens、Fiat、Continental等々多数

光産業創成大学院大学客員教授
レーザ加工学会副会長
森 清和 氏

自動車業界では1990年代初め頃から、タグチメソッドを設計や生産技術開発に活用する試みを続けてきた。日産自動車株式会社の生産技術開発部門に在籍していた経験から、タグチメソッドの推進状況を簡単に説明し、具体的な事例として薄板材のレーザー溶接のロバストネス最適化と、インプロセス・モニタリングへの適用検討例を紹介する。

平成29年11月9日(木) 14:00～17:15

会　場	ホテルクラウンパレス浜松 4F 芙蓉の間 〒430-8511 静岡県浜松市中区板屋町110-17　Tel 053-452-5111
受講対象者	主に静岡県内のものづくり企業に所属される方
定　員	100名程度
申し込み方法	Web、E-mailにてお申し込みください [Web] http://www.gpi.ac.jp/chukaku/ [E-mail] info.chukaku@gpi.ac.jp
お問い合わせ先	光産業創成大学院大学 レーザーものづくり講座事務局　楠本・加藤 ☎053-484-2170 FAX 053-487-3012 [E-mail] info.chukaku@gpi.ac.jp

主　催	公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 フォトンバレーセンター、光産業創成大学院大学
共　催	静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター